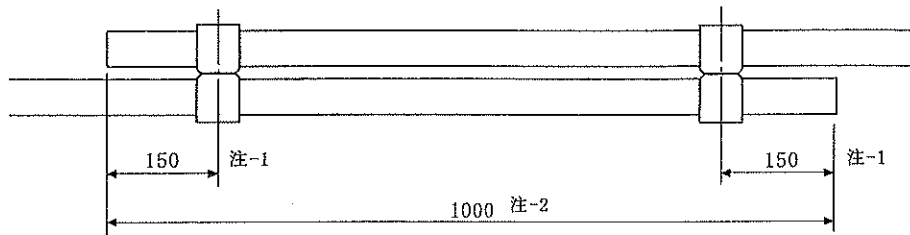


3.2 連結部の標準

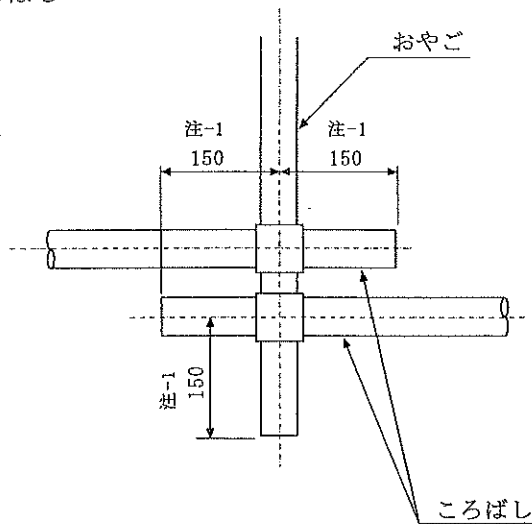
(1) 足場パイプの

(a) パイプのラップジョイント (ころばし、おやご等)



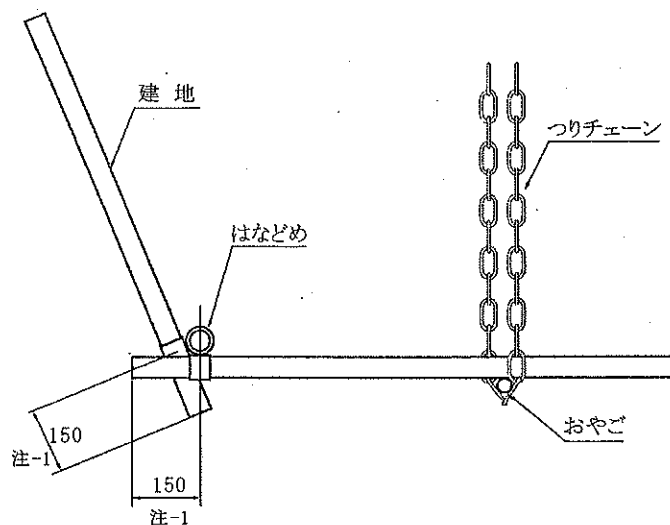
- (注) 1. ピン付き単管では、ピンの内側位置で緊結できる範囲まで縮めることができる。
 2. おやごをチェーン部で重ね継ぎする場合は、500mmまで縮めることができる。

(b) おやごところばし



- (注) 1. ピン付き単管では、ピンの内側位置で緊結できる範囲まで縮めることができる。

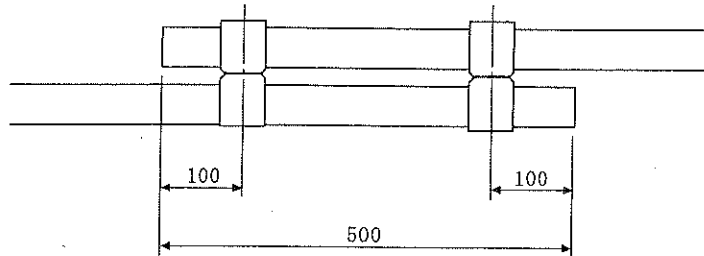
(c) 朝顔の端部



- (注) 1. ピン付き単管では、ピンの内側位置で緊結できる範囲まで縮めることができる。

(d) 手すりパイプの継手

単管ジョイントを標準とする。ラップジョイントの場合は下図を参照のこと。



(2) ころばし間隔

つり足場、ワイヤブリッジ	900 mm
安全通路（桁上）	1200 mm
中段足場	1800 mm

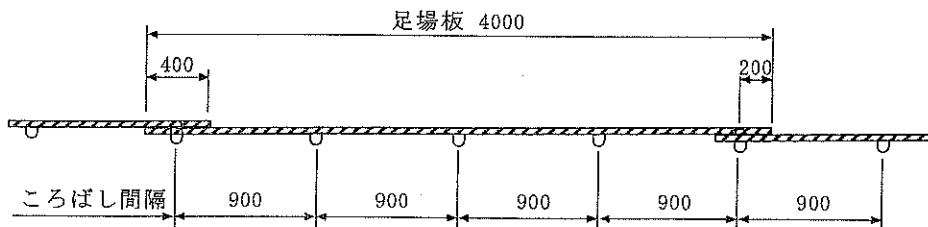
注：標準間隔は、施工性、安全性を考慮した値で、法的要求ではない。

(3) 手すり用つか柱間隔

つり足場、ワイヤブリッジ	2700 mm
安全通路（桁上）	2400 mm

(4) 足場板

足場板は支点の上で重ね、その長さは下図を標準とする。



安全通路では、ころばしを下図のように配置して足場板を面一にすることが望ましい。

